

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 村上市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
新潟交通観光バス(株)	村上市まちなか循環バス(小回り循環)	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が45人/日に対して、実績が39人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズを調査し、ダイヤの見直しやバス停留所等利用者の利便性向上を図り、利用者の増加を目指した見直しを進める。
	村上市まちなか循環バス(大回り～小回り循環)				
	村上～馬下～寒川線	沿線住民に市報・チラシ等の配布により路線バスの利用を呼びかけた。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図った。 さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が15人/日に対して、実績が12人/日であった。	引き続き、市報・HP等により路線バスの利用を呼びかけるとともに、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。
	村上市せなみ巡回バス	利用促進に向けたPR活動として、時刻表の配布を継続して行った。 また、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が21人/日に対して、実績が19人/日であった。	地域公共交通計画の施策に沿って、利用促進に向けたPR活動を行うと共に、利用者のニーズを調査し、ダイヤの見直しやバス停留所等利用者の利便性向上を図り、等利用者の増加を目指した見直しを進める。
	村上～塩野町～北中線	沿線住民に市報・チラシ等の配布により路線バスの利用を呼びかけた。また、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図った。 さらに、村上総合病院の移転に伴い、運行ルートの変更を検討し、利用者の利便性向上に努めた。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 1日当たりの平均利用者数を目標値として設定。新型コロナウイルス感染症の影響により、計画に位置付けられた目標を達成することができなかった。 計画に位置付けられた目標が36人/日に対して、実績が33人/日であった。	引き続き、市報・HP等により路線バスの利用を呼びかけるとともに、学割半額制度の周知を行い、利用促進を図る。